

平成25年度 相生学院高等学校 学校評価結果

構造改革特別区域法等の基準により相生市が設置の認可を行った相生学院高等学校について、平成25年度の学校運営全般の状況を同校から提出された資料、現場の視察、相生市教育特区学校設置審議会の意見等を参考に市として評価を行いましたので、その結果を次のとおり公表いたします。

		評 価 の 視 点	評 価	評 価 コ メ ン ト
評 価 項 目	各教科の状況	授業の状況 特別支援教育の状況 進路指導の状況	良い	<p>授業等の状況については、編入・転入生など様々な環境の生徒が多くいるなか、それぞれの生徒に対して、自己実現に向けた教科、特別活動、総合学習等各方面で工夫があり、各教科等の指導に努力が見られる。</p> <p>さらにコンピューターの活用においても積極的な姿勢があり、これからの社会に対応する効果的・効率的な活用を考えたIT教育が進められている。</p> <p>また、特別支援教育においては、施設面の課題は残るが、保護者と連絡を密にする配慮のもと、丁寧な生徒への支援が見られ評価できる。</p>
	生徒の状況	生徒の人格的発達 の状況 生徒指導等の状況 安全管理の状況 学校に対する生徒・保護者の意見・ 要望等の状況	良い	<p>年ごとに生徒数が増え、設立当初の目標に達してきている。在校生では、退学者が若干名いるものの、生徒の定着率は極めて高く、各生徒が目標に向かって自己の実現に努めている。</p> <p>また、各生徒の学習状況・部活動等の様子、さらに卒業生の社会での活躍がわかる「相学 News」や生徒と保護者を対象とした「学校生活に関するアンケート調査」から在校生や卒業生の学校での満足度を計り知ることができる。</p> <p>さらに、教職員が個々の生徒のいいところを探す姿勢を持って寄り添い、生徒の心情理解に努めるとともに個性の尊重とその伸長に努力している。</p>

学校管理運営の状況	組織運営等の状況 教育目標と学校評価の状況 設置者と学校の取組状況	良い	<p>組織運営等の状況では、教職員の連携のもと、教育目標に沿った学校運営がなされており評価できる。</p> <p>学校評価についても生徒及び保護者からの評価がなされており、その結果の集計も的確になされ、今後の学校づくりの方向をうかがうことができる。</p> <p>また、設置者と学校の教育環境への取り組みは、校舎の修繕や教育教具の適切な整備等がみられる。</p>
学校・家庭・地域の連携協力の状況	学校に関する情報公開の状況 学校と保護者・地域住民等との連携協力の状況	良い	<p>生徒や保護者へのアンケートでの意見集約による情報の把握に努めるだけでなく、学校情報を相学 News やホームページで積極的に発信しており、評価できる。</p> <p>これにより保護者や地域等が学校づくりの方向性や生徒の活躍を早期に把握することができ、理解と協力が得やすいものと感じる。</p>
学校設置による効果	学校が設置されたことによる経済効果	おおむね満足	<p>対外的な PR では、テニス部男女・ボクシング部・野球部等の活躍により、相生学院高等学校が大きく新聞紙上やテレビのニュースでも取り上げられ、全国的に有名となり、学校設置の効果は大きい。さらに、相生市の知名度も広がり、本市への貢献度・期待度は評価できる。</p>
市との連携協力の状況	市への現状報告及びセーフティネット対策の状況	おおむね満足	<p>相生市との連携関係は、学校評価、スクーリング及び相学News等で構築され、相互に理解を高めてきている。</p> <p>設置認可者の相生市は、学校が創立された経緯を尊重し、生徒達から「相生に来て良かった」「相生本校にもう一度行きたい」と言ってもらえるよう、学校づくりへの協力をお願いする。</p>

総括・課題	<p>相生学院高等学校評価基準に基づき総合的に評価を行った結果、全体的に評価できるものである。</p> <p>学校は、創立6年経過で当初からの課題が学校の年次ごとの努力により着実に克服され、学校経営は安定してきている。</p>
-------	---

評価項目については、「優れている」、「良い」、「おおむね満足」、「要改善」、「注意」の基準で評価しています。